

1) タイトル

肢体不自由がある生徒におけるマルチメディアデイジー教科書の活用（中学部国語科）

2) 事例の対象となる児童生徒

肢体不自由がある生徒3名（中学部）

生徒A（1年の2学期から卒業時まで使用）自分の名前の平仮名を読んだり書いたりすることができる。学習の参加の量や方法は、体調が大きく影響する。

生徒B（1年の2学期から卒業時まで使用）自分の名前の平仮名を読むことができるが、上肢の障害により書くことは難しい。

生徒C（2年の2学期から卒業時まで使用）平仮名で書かれた文章は、滑らかに読むことができるが、読むと内容を理解することができない。平仮名で簡単な文章を書くことができる。

3) 使用する機器（支援機器）の名称と特徴

①支援機器の名称

使用機器 WindowsPC

再生ソフト「AMIS」「EasyReader Express」「LpPlayer」など

再生データ 教科書の文字や画像データを使用し、DAISY2.02規格で作成された図書（以下、マルチメディアデイジー教科書と記す）

②特徴

マルチメディアデイジー教科書は、通常の教科書と同様のテキスト、画像を使用し、テキストに音声をシンクロ（同期）させて読むことができる。ユーザーは音声を聞きながらハイライトされたテキストを読み、同じ画面上で絵を見ることもできる。（日本障害者リハビリテーション協会ウェブページ「ENJOY DAISY」より抜粋）

また、パソコンなどのコンピュータを使ってマルチメディアデイジー教科書を再生させると、スイッチを使うと、上肢に障害があっても読み進めることができる。背景の色や文字の色、大きさ、読む速度を変えて読み手の好みや特性にあわせることもできる。

4) 使用した機器を選定した理由

マルチメディアデイジー教科書の特徴をいかすと、文章を読む労力が軽減され、内容理解などの学習に集中することができる、3名の生徒が同じ教材で学習することができると考え選定した。

5) 選定のプロセス

対象生徒が、ほとんどの文字を読むことが難しかったので、絵本を使った読み聞かせによる学習が多かった。マルチメディアデイジー教科書を使うことによって文字を読む学習ができると考え、導入することにした。

6) 個別の指導計画と個別の教育支援計画

週1回から2回40分間の国語科の教科学習として位置付けし、文字の習得や文章を読んだり理解した

りできるようになることをねらった。

自立活動の観点では、落ち着いて学習に取り組むこと、視機能の向上、手指の操作、姿勢の安定、発声などに対する支援と能力向上をねらった。

7) 指導の内容

生徒にとって親しみのある身近な内容で、文章構成も簡単な小学1年国語科の説明文を使用した。

以下の①から④を繰り返し行った。

①音声を聞きながら、ハイライトを見る。

②音声の後に、声に出して読む。(マルチメディアデージー教科書を一時停止と再生を繰り返して、正しく読めているか確認しながら行った)

③音声を消して、ハイライトされた言葉を見て読む。

④内容理解

8) 支援機器の使用効果あるいは、指導の効果と支援機器の評価

生徒Aは、平仮名がほとんど読めなかったが、次第に逐次読みができるようになり、約2年後には、5字程度の分かち書きを、まとめ読みできるようになった。また、紙の絵本に興味をもち、家庭でも読むようになった。

生徒Cは、マルチメディアデージー教科書を使用すると、内容を理解しながら音読することができるようになった。

生徒3人とも、読書に対する興味がわき、昼休みにも「読みたい」と要求するようになった。

ディスプレイの大きさや位置、文字の大きさや、背景の色などを調整することができたので、それぞれの生徒の見ることへの困難の状態を軽減し正確に読むことができた。

読み聞かせからスイッチを使用して自分のペースで読むことまで読書の幅を広げることができた。

9) まとめと今後の課題

マルチメディアデージー教科書を使用することによって、文字の習得や文章読解の学習が格段に進んだ。また、実態の違う複数の生徒が同時に学習することができた。音声や文字、図など多感覚から情報を得ることができるので、自分に合った情報を選び学習することができたからだと考えられる。

主に教材教具としてマルチメディアデージーを使用することはできたが、日常生活やその後の生活の読書の機会拡大につながることは少なかった。今後、支援機器として日常生活での活用方法も模索していきたい。

10) 文献

- 日本障害者リハビリテーション協会 ENJOY DAISY ウェブサイト
<http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/>
- パンフレット『ENJOY DAISY「読める」って、たのしい。』(公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会)
- 特定非営利活動法人 NaD のウェブサイト <http://www.gsk.org/naradaisy/daisy/>

- 「NaD のパンフレット」(特定非営利活動法人 NaD)
- 公益財団法人 伊藤忠記念財団 電子図書普及事業ウェブサイト
<http://www.itc-zaidan.or.jp/ebook.html>
- 「マルチメディア DAISY 図書わいわい文庫活用術」(公益財団法人 伊藤忠記念財団)
- 『はげみ平成 27 年 10・11 月号「生活を豊かにする支援機器の活用 2」』(社会福祉法人 日本肢体不自由児協会)